



国府台女子学院 小学部だより

市川市菅野3-24-1

Tel 047-322-5644

Fax 047-322-5655

2025年7月号

7月2日発行

<https://www.konodai-gs.ac.jp/>

善悪の判断力



～家庭と学校が連携して子どもたちの判断力を育てる～

登校時や昼休み等に6年生が1年生のお世話をしている姿が見られます。6年生は優しく1年生に関わり、お互いに関わりを楽しみ、自然に優しい気持ちが育っているように感じられます。

一方、どの学年にもあることですが、友達との関わり方に悩んだり、相手の気持ちを考えない言動をとったり、約束やルールを守れない行動があったりして、日々の指導が続けているところで

善悪の判断力は、行動の善悪を判断する力です。子どもたちは、頭では、良いこと悪いことはわかっているのですが、友達に誘われて断れなかった、楽しそうだったから、見つかると思わなかったなどという軽い気持ちから悪い行動をとってしまい、反省を促されるという結果になっています。

善悪を判断して行動できるようにするためには、まだまだ様々な経験を積み重ねながら見守っていくことが必要だと実感しています。そして、ご家庭のご協力が不可欠です。

低学年の児童には、特に、生活規律のサポートをお願いします。

早寝早起き朝ご飯の習慣づけ、忘れ物チェックを一緒に行うなど、基本的な生活習慣を整えましょう。

また、お手伝いを通して責任感を育てる、テレビやゲームの時間を決める、挨拶の習慣を大切にするなど、家庭での約束事が実行できるようにしましょう。(ノ)

7月行事予定

1日 職員会議	15日 孟蘭盆会
2日 第4回学校見学会 (受験希望者対象)	4・5・6年生学力テスト
5日 休業日	16日 成績会議のため自宅学習
第2回学校説明会 (受験希望者対象)	19日 終業式
7日 仏教朝礼	22～26日 前期夏期講習5・6年生
10日 短縮日課開始 委員会	23～25日 4年生高原学校
11日 スポーツテスト	8月10～19日 学校閉鎖
14日 5・6年生学力テスト	8月21～26日(除24日) 後期夏期講習4・5・6年生
☆9月1日(月) 2学期始業式	

高学年の児童には、自律心を育てるサポートをお願いします。特に、「信頼して任せる」とこと「適切に見守ること」が大切です。過保護になりすぎず、かといって放任しすぎることなく、子どもの成長に合わせて関わり方を調整していきましょう。

例えば、問題が起きたときには、すぐに解決策を提示せず、「どうしたらいいか」「どう思うか」と子どもの考えを聞いてみましょう。また、褒め方のコツは、結果ではなくプロセスを誉めることが大切です。具体的に頑張っていた姿を認めてもらうことで自分を肯定することにつながっていきます。

そして、子どもの話を共感して聞くことはとても大切ですが、一方で冷静に聞くことも大切です。失敗をしたときは、頭ごなしに叱るのではなく、次はどうすれば良いのかを一緒に考えてください。

子どもたちの健やかな成長を願っています。

中1の先輩から小学部の後輩へ

中学部で、中1の生徒にアンケートをとりました。一部を紹介します。

○小学部の先生に向けて中学校生活の感想やこれからの学校生活の意気込みなど、自由に書いてください。

『算数の授業が習熟度別だったので、最初の数学が苦戦しなくて良かったです。』

○小学部の後輩にアドバイスなど、応援メッセージをお願いします。

『「中学部に入ったら、勉強も難しくなって、部活も始まって、忙しくなるんだろうな…」と思っていました。みなさんの中にもそう思っている人いませんか。でも、全然そんなことないです。友達はたくさんできるし、先生は面白いし、部活も自分がやりたい部活に入れます!!!そのために、小学部にいるうちに、たくさん勉強をして、中入生(外進生)に負けにくいくらいの自信を作ってください。』



今月の目標

「正しい言葉づかいをし、礼儀正しくしましょう。」

現代アニメとお盆について

近年稀に見るヒットをしたアニメとして、『機動戦士 Gundam GQuuuuuuX (ジークアクス)』が挙げられます。この作品は、1979年に放映された「機動戦士ガンダム」のif(もしもの)世界を舞台にした物語です。あらすじは、1979年の「(通称)ファーストガンダム」の物語(宇宙移民政権と地球政権の戦争)をベースに、もし別の歴史を辿っていたら…というif設定で物語が展開されます。この『ジークアクス』が提示する世界観は、「人の業(権力欲・嫉妬・執着)の愚かさをあらわにし、その業にとらわれている人類は傷つけあいを続ける」「肉体(物質)を超えた先にある魂の共鳴こそ人類の希望」というテーマは、子ども向きアニメを超えた哲学的様相を示していました。今回は、現代のアニメに日本の伝統的な仏教行事の孟蘭盆会(お盆)の思想を重ねてみたいと思います。まず、『ジークアクス』の「if世界」は、仏教の「縁起(えんぎ)」の思想に通じます。仏教では、すべての存在は相互に関係・影響し合い、因果関係によって成り立っているとされます。敵味方も、それぞれの立場や環境、過去の因縁によって行動しており、絶対的な「悪」は存在しません。『ジークアクス』における「もし正史と違う選択を行い、別の歴史を辿っていたら」という設定は、まさに「縁起」によって無数の可能性が広がる様を示しています。また、このアニメの主人公マチュの敵味方双方に、人間性の光と闇が入り混じって描かれている点が現代的解釈だと感じました。これは、登場人物たちが善悪の単純な二元論では語れない、複雑な関係性で描かれ、仏教的な「縁起」の思想である互いに関わり合いながら生きる存在であり、その行動原理は「愛情」や「希望」といった肯定的な感情だけでなく、「憎しみ」や「嫉妬」といった負の感情によっても突き動かされていきます。敵味方という立場を超え、「人間」が持つ多様な感情や欲求が浮き彫りになることで、『ジークアクス』は単なる勧善懲悪の物語ではない、より深い人間ドラマを描き出していたと感じました。そして「ガンダム」で使用される用語の「ニュータイプ(精神による相互理解ができる進化した人類)」とは、他者の苦しみを共有し、共に乗り越えようとする「慈悲」と「智慧」を語るSF物語だと私は理解しました。

7月15日に行われる「孟蘭盆会」は、亡くなった自分の親族・知人を偲び、感謝と敬意を表すのはもちろん、祖先達の過去の選択が現在の「私」の命を形づくり、未来の子孫へと受け渡されていくという壮大な「生命の連なり」を改めて気づかせてくれます。全ての存在が互いに縁起によって結ばれているということを感じながら、「お盆」を大切に

